

JCOM2016 大会プログラム (2016年12月10日開催)

9:00 受付 千葉大学 けやき会館 (西千葉キャンパス)

研究発表会 (けやき会館 大ホール)

座長: 奈良一秀 (東京大学)

10:00 O1 世界最大の菌従属栄養植物タカツラン (ラン科) の菌根共生パターンの解明

○辻田有紀¹・徐慧²・深澤遊²・手塚賢至³・馬田英隆⁴・牧雅之²・遊川知久⁵

(¹佐賀大、²東北大、³屋久島保全協会、⁴たかなべきのこ研、⁵国立科博)

10:15 O2 アーバスキュラー菌根を形成するリンドウ科光合成植物における菌従属栄養性の探索

○鈴木貴子¹、丸山敦²、遊川知久³、大和政秀⁴

(¹千葉大学院教育学研究科、²龍谷大学理工学部、³国立科学博物館筑波実験植物園、⁴千葉大学教育学部)

10:30 O3 ラン科植物と *Tulasnella* 属菌間の共生親和性の解析

○藤雅子¹・三浦千裕¹・込山真太郎¹・山本樹稀²・本城真也¹・谷亀高広³・大和政秀⁴・上中弘典¹

(¹鳥取大農・²鳥取大院農・³瑞穂町郷土資料館・⁴千葉大教育)

10:45 O4 オーキシンおよびジベレリンはラン科植物シランの菌根共生の制御に関与する

山本樹稀¹・三浦千裕²・谷亀高広³・大和政秀⁴・上中弘典²

(¹鳥取大・院農、²鳥取大・農、³瑞穂町・郷土資料館、⁴千葉大・教育)

座長: 松田陽介 (三重大学)

11:00 O5 絶滅危惧種トガサワラに共生する菌根菌トガサワラシヨウロの胞子分散範囲と近距離遺伝構造

○阿部寛史・村田政穂・奈良一秀 (東京大学 新領域創成科学研究科)

11:15 O6 亜熱帯から亜寒帯にかけての気温傾度にそった外生菌根菌分布と種多様性傾向

○宮本裕美子¹・寺嶋芳江²・成松真樹³・奈良一秀⁴ (¹北海道大学 北極域研究センター・²琉球大学 熱帯生物圏研究センター・³岩手県林業技術センター・⁴東京大学大学院新領域創成科学研究科)

11:30 O7 ダイズにおけるアーバスキュラー菌根菌接種菌と土着菌との競合に関わる生態的要因

○丹羽理恵子¹・神山拓也¹・安達克樹¹・佐藤修正^{2,3}・平川英樹³・吉田重信¹・江沢辰広⁴

(¹農研機構・²東北大院生命科学・³かずさDNA研・⁴北大院農)

11:45 O8 ダイズの根粒・菌根共生系における Type1 メタロチオネイン遺伝子発現の局在性解析

○小山浩由¹・坂本一憲¹・小八重善裕²・中村郁郎¹

(¹千葉大学大学院園芸学研究科、²農研機構北海道農業研究センター)

12:00 休憩

13:00 総会 (けやき会館 大ホール)

研究発表会 (けやき会館 大ホール)

座長：大友量 (農研機構)

13:30 O9 アーバスキュラー菌根菌接種効果のダイズ品種・系統間比較

○林 正紀・唐澤敏彦・浦嶋泰文^[1] (農研機構 中央農業研究センター)

13:45 O10 Effect of Arbuscular mycorrhizal and Rhizobial inoculants on Manganese and Iron nutrition in Soybean (*Glycine max* (L.) Merr.) under Zinc excess

○Young Bassey Ibiang, Hiroko Mitsumoto, Kazunori Sakamoto
(Graduate School of Horticulture, Chiba University, JAPAN)

14:00 O11 Effect of arbuscular mycorrhizal fungi from forest soils in Indonesia on growth of *Paraserianthes falcataria*, *Calliandra calothyrsus*, *Cassia siamea* and *Sesbania grandiflora*

○A.F. Maulana, W. Cheng and K. Tawaraya (Yamagata University, Faculty of Agriculture)

座長：上中弘典 (鳥取大学)

14:15 O12 *Rhizophagus clarus*—ウイルス間相互作用に駆動される酸性土壌適応:大陸間隔離株の共通ウイルスは酸性土壌において正の選択圧を受ける

○鈴木芽以¹・中西夏輝¹・丸山隼人¹・俵谷圭太郎²・増田税¹・江沢辰広¹ (¹北大院農、²山形大農)

14:30 O13 アーバスキュラー菌根菌 *Rhizophagus clarus* の外生菌糸から浸出される酸性ホスファターゼ活性のリン酸応答

○蜂矢志保実¹・佐藤匠¹・江沢辰広²・程為国¹・俵谷圭太郎¹
(¹山形大学農学部、²北海道大学大学院農学院)

14:45 O14 アーバスキュラー菌根菌における PHO1 型リン酸排出輸送体は 宿主へのリン酸移行に関与する

丸山隼人¹・横山 楓¹・菊池裕介¹・中西夏輝¹・阿部歩¹・曾根輝雄¹・斎藤勝晴²・増田 税¹・江沢辰広¹
(¹北海道大学大学院農学研究院、²信州大学農学部)

15:00 O15 アーバスキュラー菌根菌における耐酸性形質の分子基盤:比較トランスクリプトーム解析を利用した耐酸性遺伝子の探索

○中西夏輝・丸山隼人・江沢辰広 (北海道大学大学院農学院)

研究発表会ポスターセッション (けやき会館 2F) 15:20~16:20 P1~P8

P1 日本産黒トリュフ (*Tuber indicum*) の子嚢胞子発芽に貯蔵条件と宿主植物の根が与える影響

○相川 友祐¹・阿部 淳一^{ピーター}¹・山中高史²・山岡 裕一¹

(¹筑波大学 生命環境系, ²森林総合研究所 きのこ・森林微生物研究領域)

P2 菌根性食用きのこシロウロにおける胞子発芽培地の探索

○仲野翔太¹・高琪²・会見忠則³・霜村典宏³

(¹森林総合研究所微生物生態研究室, ²鳥取大学大学院連合農学研究科, ³鳥取大学農学部)

P3 胞子果形成アーバスキュラー菌根菌の分類と生態的特性

○大和政秀¹・大金悦里¹・大前宗之²・折原貴道³ (¹千葉大教育・²(株)北研・³神奈川県博)

P4 殺菌した圃場におけるアーバスキュラー菌根菌の接種がネギの生育に及ぼす影響

○佐藤匠・程為国・俵谷圭太郎 (山形大学農学部)

P5 三要素連用試験圃場におけるダイズへのアーバスキュラー菌根菌接種効果

林 正紀・○唐澤敏彦・浦嶋泰文・須賀有子 (農研機構 中央農業研究センター)

P6 北海道のダイズ栽培における菌根菌資材接種の2年目の効果

○大友量・小八重善裕・森本晶・岡紀邦 (農研機構北農研)

P7 駒止湿原開墾跡地におけるブナ外生菌根菌の分布

○猪瀬有美¹・郭永¹・高島勇介²・坂上伸生¹・成澤才彦¹

(茨城大学農学部¹ 東京農工大学大学院連合農学研究科²)

P8 菌根経路からのリン酸吸収に対するネギのトランスクリプトーム応答

○港 翔平¹・中西夏輝¹・丸山隼人¹・永野 惇²・江沢辰広¹ (¹北大院農・²龍谷大農)

P9 ネギに対する菌根菌接種効果の発現と土壌リン肥沃度

○鈴木貴恵¹・丹羽理恵子²・宇野亨¹・田島亮介¹・伊藤豊彰¹・吉田重信²・佐藤匠³・俵谷圭太郎³・江沢辰広⁴・齋藤雅典^{1,5} (¹東北大院・農, ²農研機構・中央農研, ³山形大・農, ⁴北大院・農, ⁵JST)

特別講演

座長：大和政秀（千葉大学）

16:30

AM 菌胞子果を食べるコガネムシの発見とその生態 ー昆虫による地下生菌類の胞子分散の可能性ー

○日暮卓志¹・棚橋薫彦²（¹千葉県立中央博物館、²産業技術総合研究所）

17:15

Micro- and macro-evolution of mycorrhizal specificity: case studies in the orchid mycorrhiza

○Richard P. Shefferson（University of Tokyo, Organization for Programs on Environmental Science）

18:00～20:00

懇親会（けやき会館 レストラン「コルザ」）

=====

発表要領

口頭発表：

一般講演は、発表時間 12 分間、質疑応答 3 分間（計 15 分間）です。時間を厳守して下さい。

発表用のパワーポイントファイルをご用意願います。ファイルは USB メモリー（ウイルス等の危険の無いことを確認した物）で当日持参して下さい。

受付横にコンピューター（Windows10, PowerPoint2016）を用意します。午前中の講演の方は 9:50 までに、午後の講演の方は 12:50 までにインストールを済ませてください。

ポスター発表：

ポスター発表会場はけやき会館 2 階の踊り場を予定しています。ポスターの展示ボードは横 90 x 縦 180 mm で、画鋏でとめて頂きます（画鋏は用意します）。ポスターの説明時間は 15:50 から 16:50 を予定しています。

その他

お昼：あいにく生協の食堂は営業しておりません。お昼ご飯は、正門前か西千葉駅周辺の飲食店をご利用ください。

懇親会：けやき会館のレストラン・コルザにて行います。参加費は 4000 円を予定しています（変更の可能性あり）。

2 次会など：西千葉駅周辺、千葉駅周辺に多くの飲食店があります。